

ラゲージウッドデッキ 取付要領書

(品番：D2647-60510) 型式：ZWE21#W / ZRE212W / NRE210W 設定グレード：全車

このたびは、モデルスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、**ラゲージウッドデッキ**の取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行ってください。

取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか確認してください。
- 車両が動かないよう、エンジンを切り、車止め等をして作業してください。
- 開梱時、同梱部材の有無、製品本体の不具合が無いか、取り付け前に確認してください。
- **ラゲージウッドデッキ**を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリを取り除いてください。
- **重要** ■ 両面テープは、外気温が **15°C以下になると接着力が低下します**ので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行ってください。
- **重要** ■ 両面テープの圧着を充分に行ってください。**500kPa (5kgf / c m²) 以上**

取り付け完了後の点検・注意事項

- **ラゲージウッドデッキ**が、車両に確実に装着されているか確認してください。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか確認してください。
- 取り付け完了後、**ラゲージウッドデッキ**及び車両部品に傷がついていないか確認してください。
- 取り付け完了後、**3時間程度**は強い力を加えたり、濡れない様注意してください。
(両面テープの剥がれ、純正デッキボードとボードの間に隙間が発生する恐れがあります。)

取付要領書には下記マークを使用しております。



注意

この取り付けは特に重要な項目です。必ず読んでお守りください。
守らないと傷害や事故につながるおそれがあります。

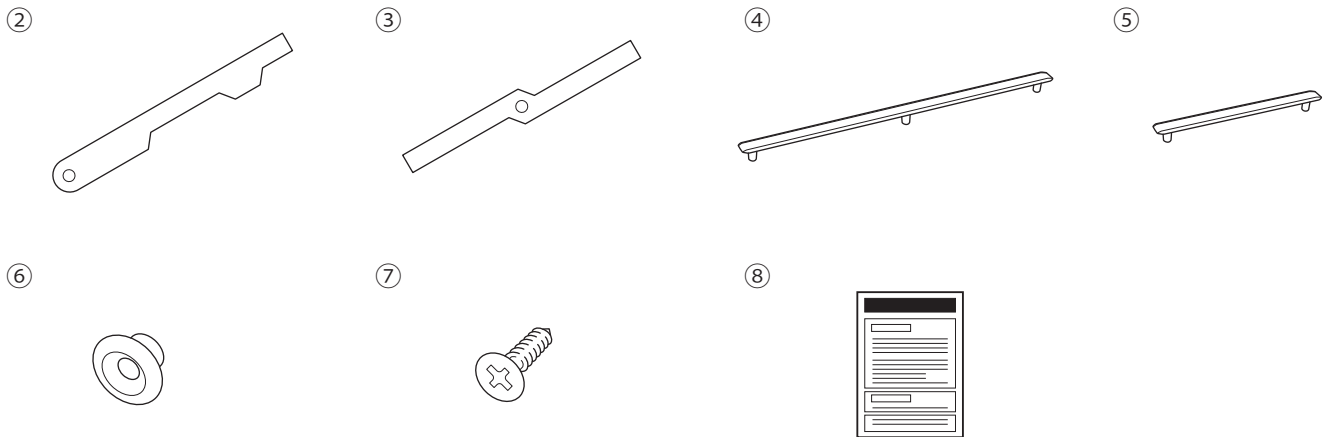
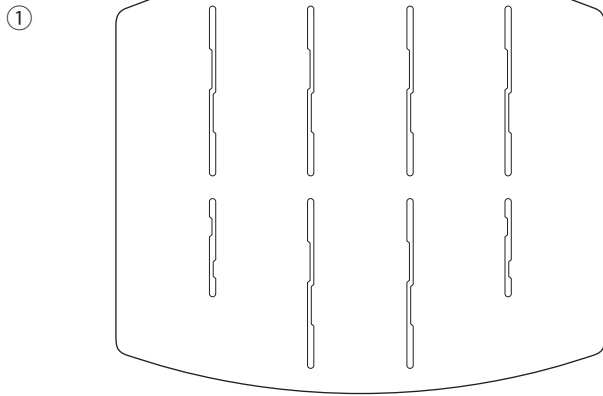


アドバイス

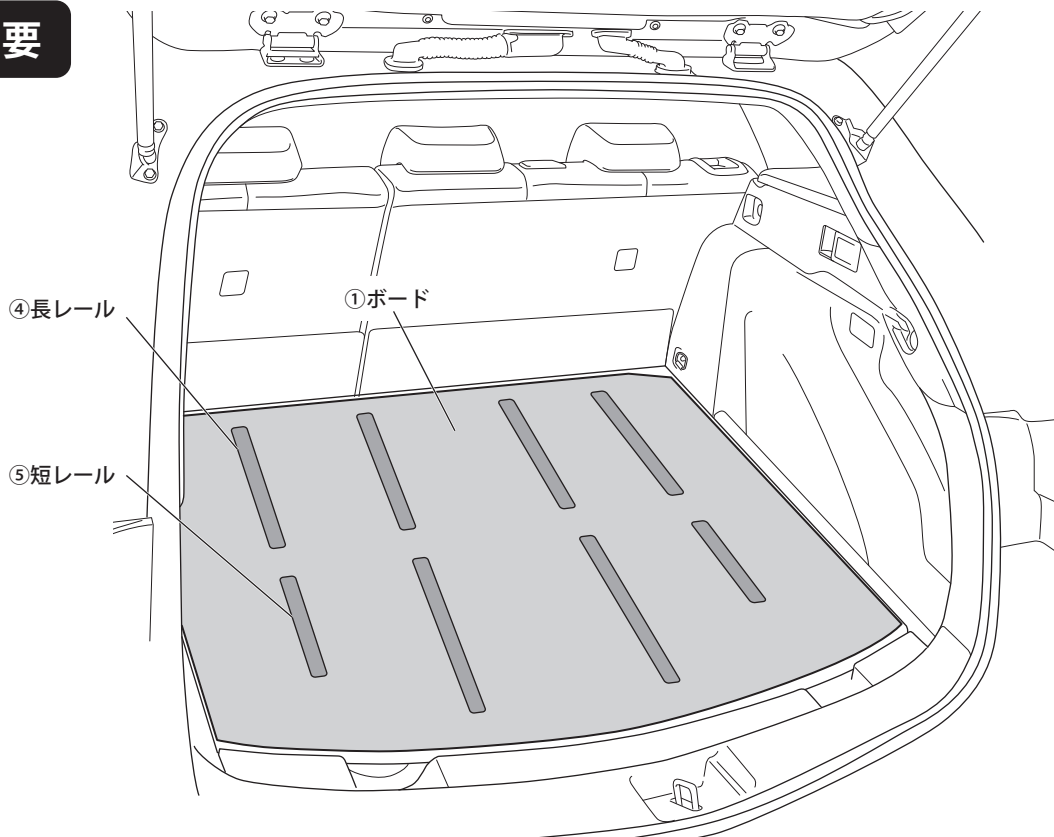
この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品

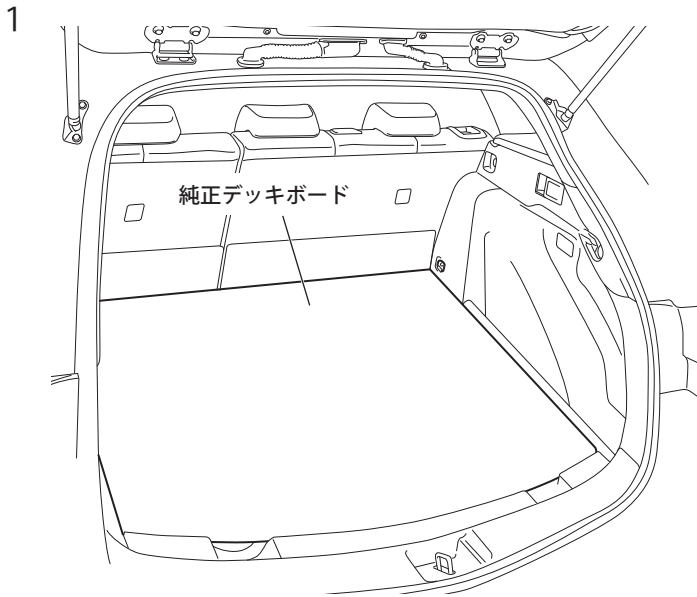
No.	品名	個数
①	ボード	1
②	端用ゲージ	2
③	中央用ゲージ	1
④	長レール	6
⑤	短レール	2
⑥	スペーサー	22
⑦	タッピングビス (4×20)	22
⑧	取付要領書	1



取付概要



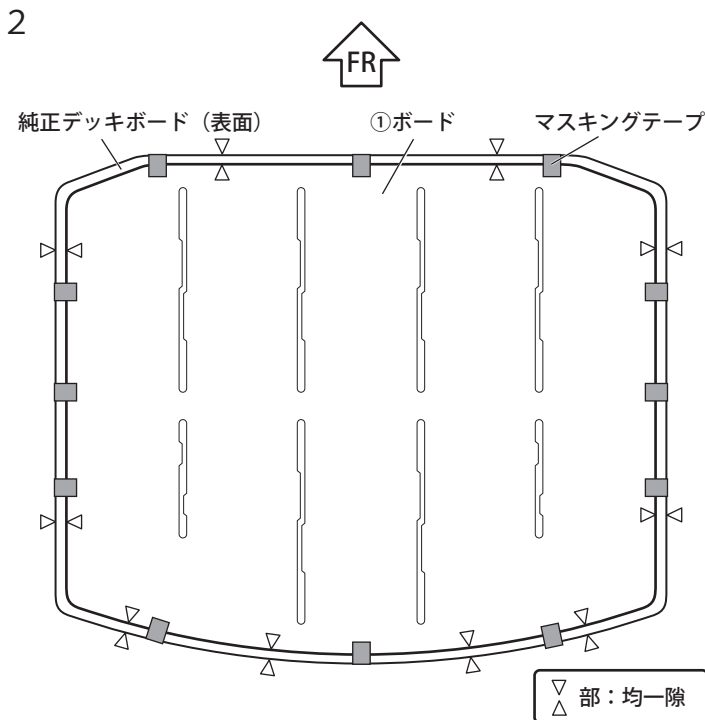
取付手順



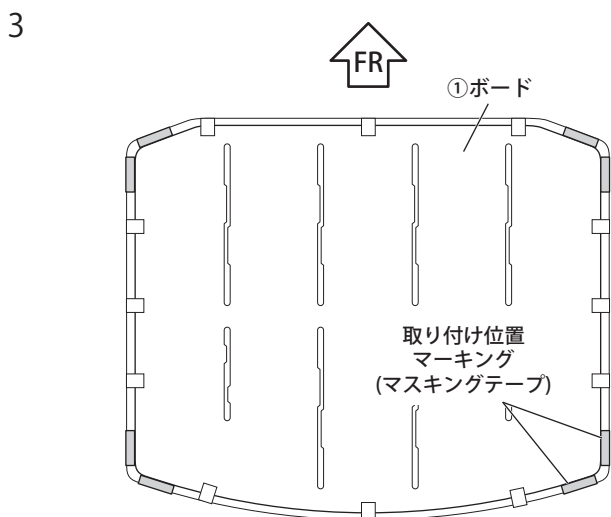
1. 車両ラゲージスペースから純正デッキボードを取り外す。

📖 アドバイス

手順2以降は、安定した机の上で作業してください。



2. 純正デッキボード表面に①ボードを仮あてし、周囲▷◁部の間が均一になるように位置を調整して、図のようにマスキングテープで固定する。

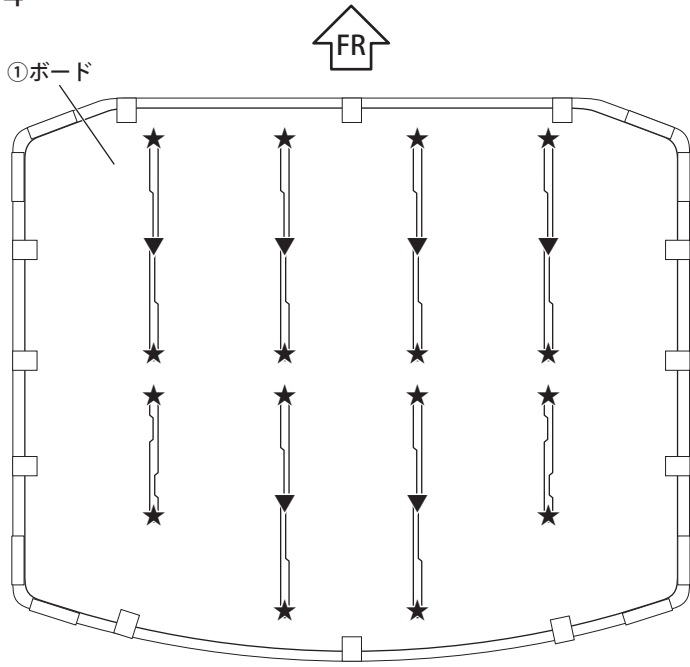


3. ①ボード四隅にマスキングテープで取り付け位置をマーキングする。

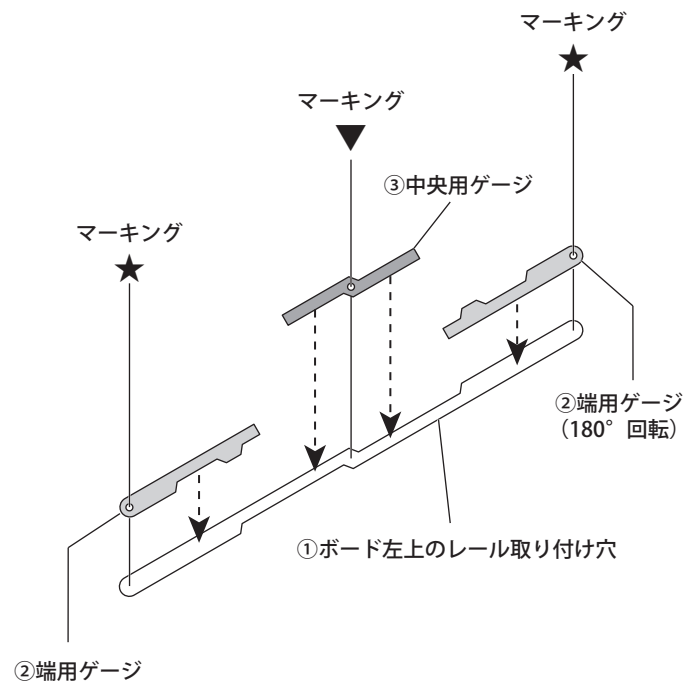
⚠️ 注意

取付位置マーキング (マスキングテープ) は、手順18まではがさないでください。

4



[拡大図] ①ボード左上のレール取り付け穴を代表



4. ①ボード上のレール取り付け穴に合わせて[拡大図]のように②端用ゲージまたは③中央用ゲージをあて、ゲージの穴中心を目安にして純正デッキボード表面に穴あけ位置をマーキングする。

★：②端用ゲージ使用箇所
マーキング位置 全16ヶ所。

▼：③中央用ゲージ使用箇所
マーキング位置 全6ヶ所。

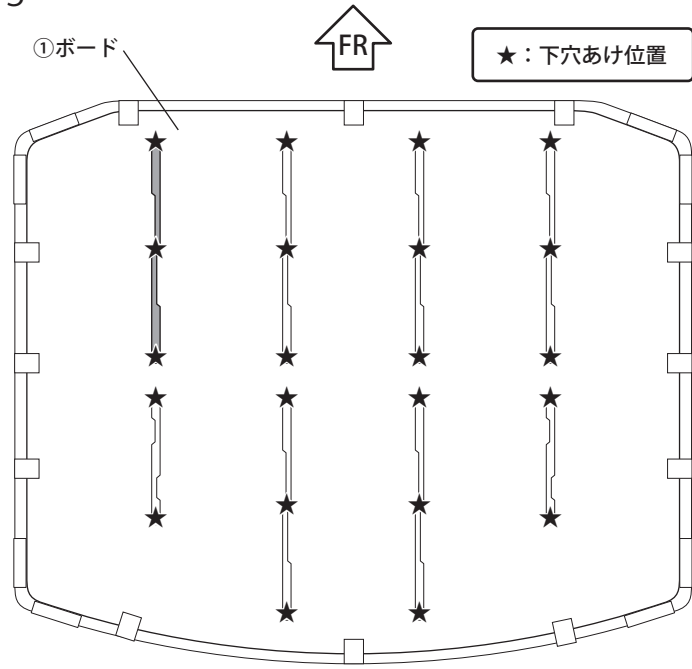
📖 アドバイス

- マーキングには、水性ホワイトダーマトペン等を使用してください。
- ③中央用ゲージは、①ボード上の長いレール取り付け穴（6ヶ所）のマーキングに使用します。

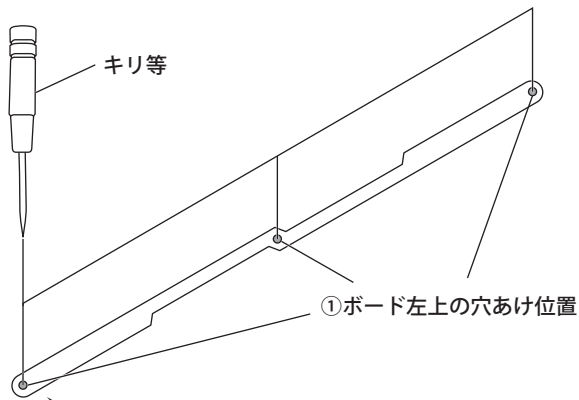
⚠️ 注意

ボードの位置ズレを起こさないよう、注意してマーキングしてください。

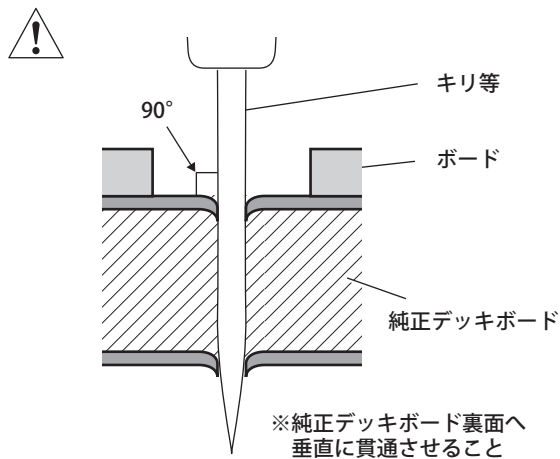
5



[拡大図] ①ボード左上の穴あけ位置を代表



[断面図]



5. 穴あけ位置マーキングの中心を目安にして、純正デッキボード裏面まで垂直にキリ等で下穴（貫通穴）をあける。（全22ヶ所）

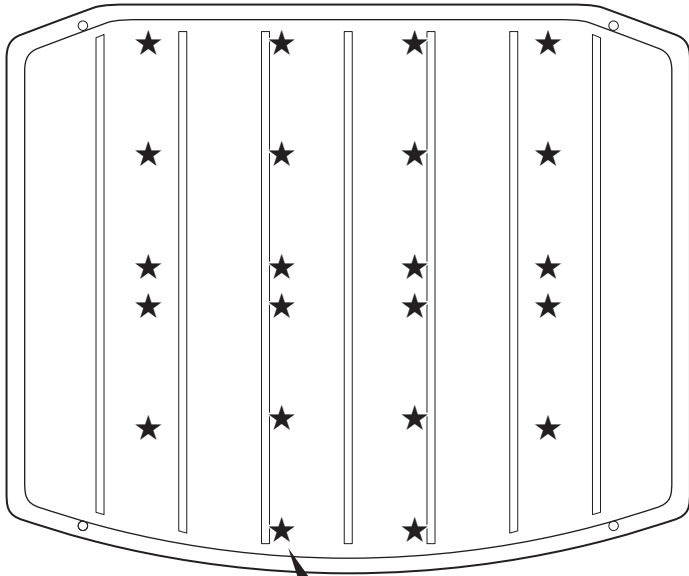
⚠ 注意

- キリ等で下穴をあけるときは、純正デッキボード裏面まで、垂直に貫通させてください。
- ボードの位置ズレを起こさないよう、注意して下穴をあけてください。
- 下穴をあけたあとは、純正デッキボード裏面まで貫通していることを確認してください。下穴が小さかったり歪んでいたときは、もう一度表面から垂直にキリ等を差し込んで、しっかりと貫通させてください。

6. 純正デッキボードから①ボードを取り外す。

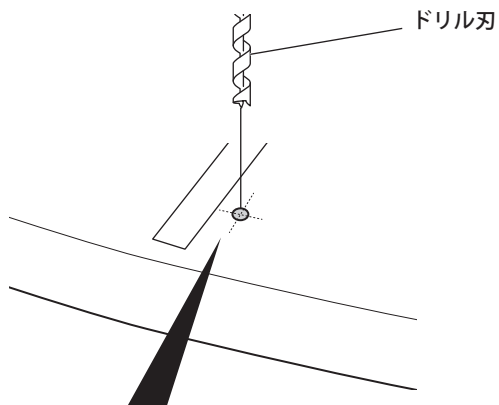


[純正デッキボード 裏面]

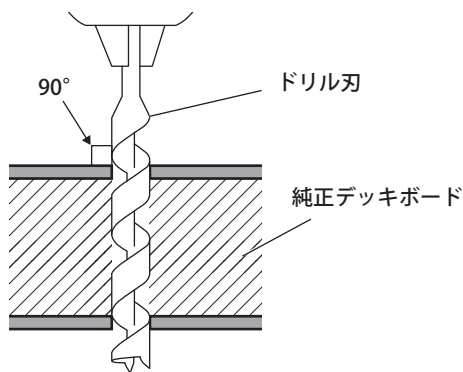


★：穴あけ位置

[拡大図]



[断面図]



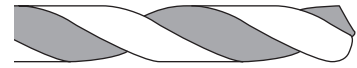
※純正デッキボード表面へ
垂直に貫通させること

7. 純正デッキボード裏面の、キリ等の下穴位置を目安にして、ドリル刃の種類に応じて次の順番に穴（純正デッキボード表面までの貫通穴）をあける。
（全22ヶ所）

- 木工用（樹脂用）ドリル刃の場合：
φ 9（本穴）



- 金属用ドリル刃の場合：
φ 3（下穴）→ φ 9（本穴）



⚠ 注意

- 穴をあけるときは、純正デッキボード表面まで、垂直に貫通させてください。
- 穴を一つあけるごとに、ドリル刃に付着した切子を取り除いてください。

📖 アドバイス

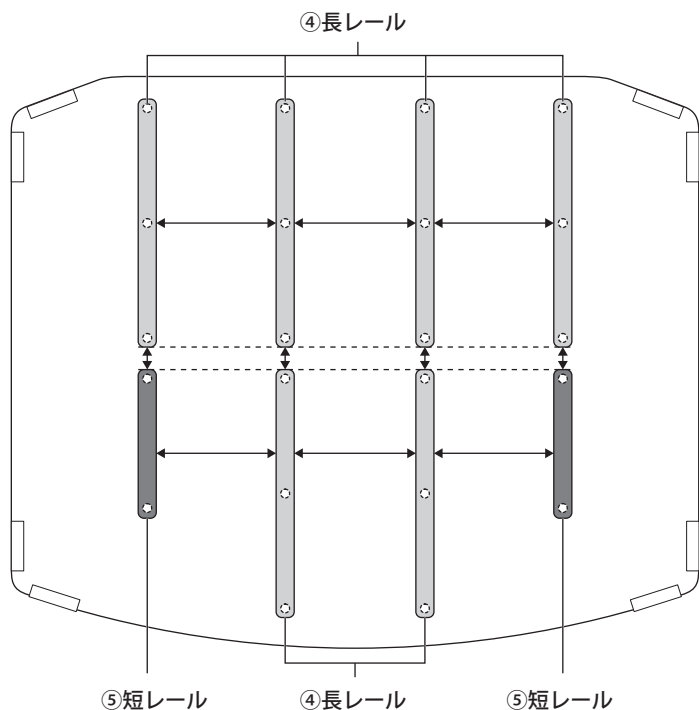
穴あけは、作業性を考慮して木工用（樹脂用）ドリル刃を使用することをおすすめします。

8. 穴周囲のバリを除去する。

9. 純正デッキボード表面／裏面の汚れ、埃を除去する。



[純正デッキボード 表面]



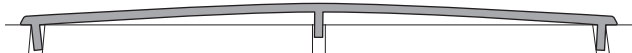
⑤短レール

④長レール

⑤短レール

↔ 部：均一隙

[断面図]



削る →

← 削る

10. 純正デッキボードを表面に戻し、手順7であけたφ9穴に④長レールおよび⑤短レールのボスを差し込み、図の↔部の間隔が均一になるように調整する。

このときレールが傾くなどして正しく取り付けられない場合は、純正デッキボード表面のφ9穴をヤスリ等で少し削り広げて調整する。

⚠ 注意

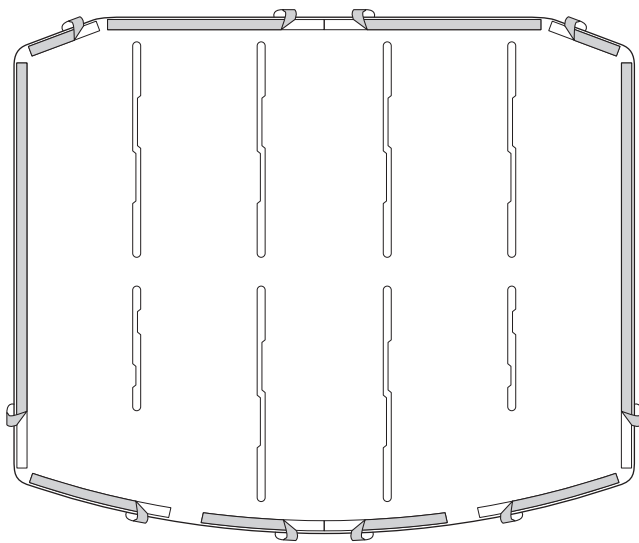
- φ9穴の調整は慎重に少しずつ行ってください。
- 純正デッキボード裏面からφ9穴の調整が必要な場合でも、2mm以上削らないでください。レールが正しく取り付けられなくなるおそれがあります。

11. 純正デッキボードから全てのレールを取り外す。

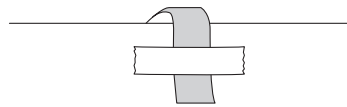
12



[①ボード 裏面]



12. ①ボード裏面の両面テープの離型紙をめくり、表面に折り返してマスキングテープで固定する。



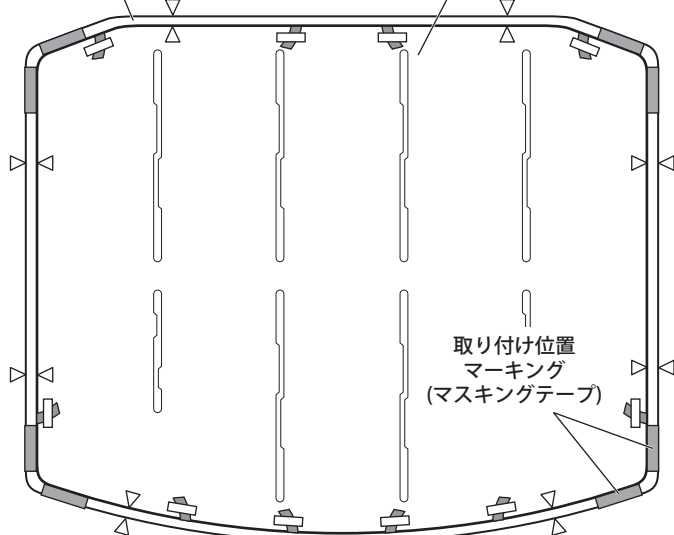
ボード表面に仮止めする

13



純正デッキボード (表面)

①ボード

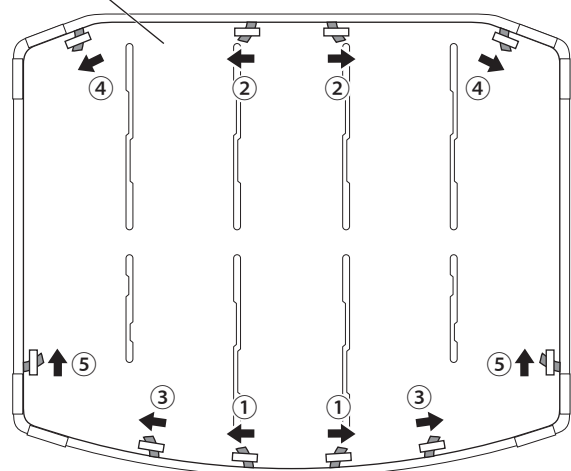


13. 純正デッキボード表面四隅の取り付け位置マーキング (マスキングテープ) を基準に①ボードを仮あてし、周囲▷◁部の隙が均一になるように位置を調整する。

14



①ボード

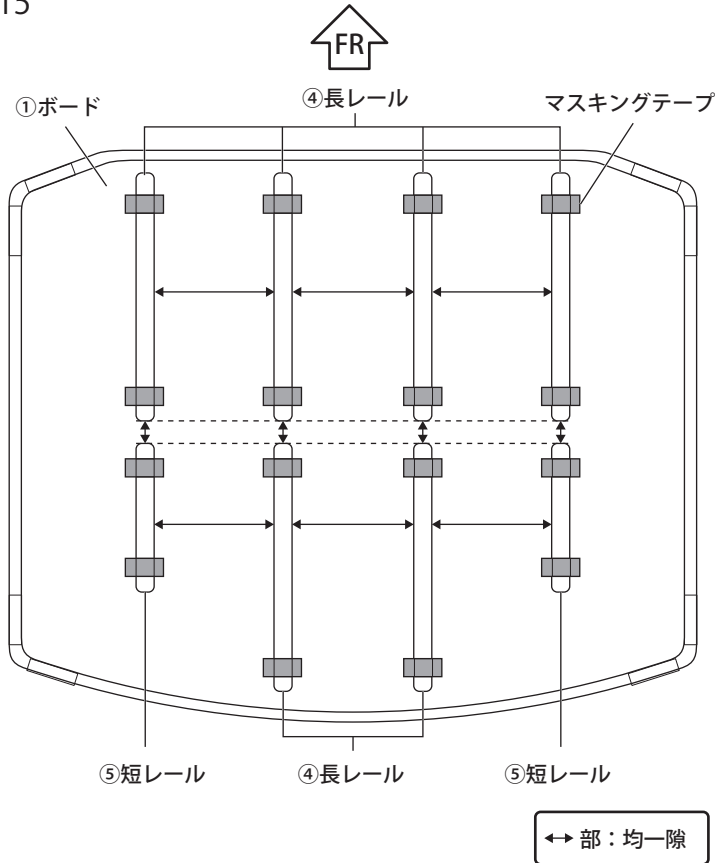


14. ①ボードを上から手で垂直に押さえ、左図の順番で離型紙を引き抜きながら500kPa (5kgf/cm²) 以上の力で圧着する。

! 注意

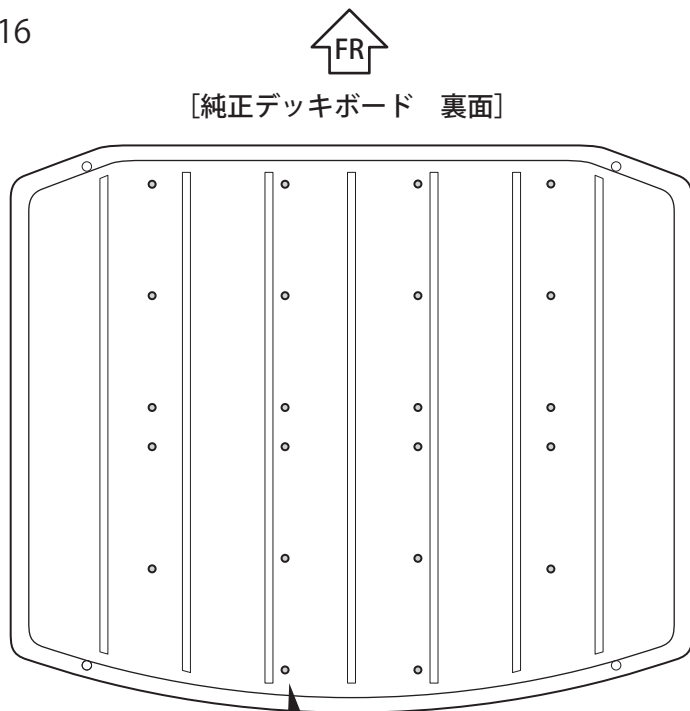
- 必ず指定順番にて左右交互に離型紙を引き抜いてください。順番を誤ると両面テープの密着が悪くなり、浮き・はがれの原因となる可能性があります。
- ボードの位置ズレを起こさないよう、注意して離型紙を引き抜いてください。

15



15. ④長レールおよび⑤短レールのボスをφ9穴に差し込む。図の↔部の間隔が均一になるように調整し、マスキングテープで固定する。

16

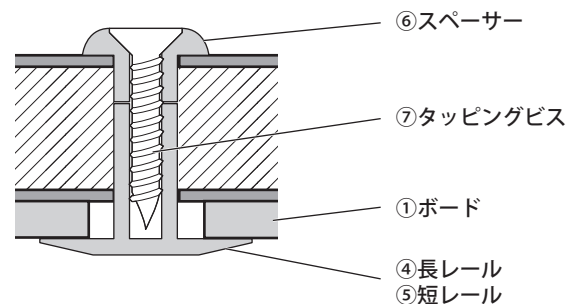


16. 純正デッキボードを裏返し、φ9穴に⑥スペーサー、⑦タッピングビスの順に取り付け、ドライバーで本締めする。(全22ヶ所)

アドバイス

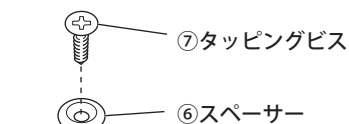
⑦タッピングビスは、頭部が下図の位置になるまでしっかりと締め込んでください。

純正デッキボード裏面



純正デッキボード表面

[拡大図]

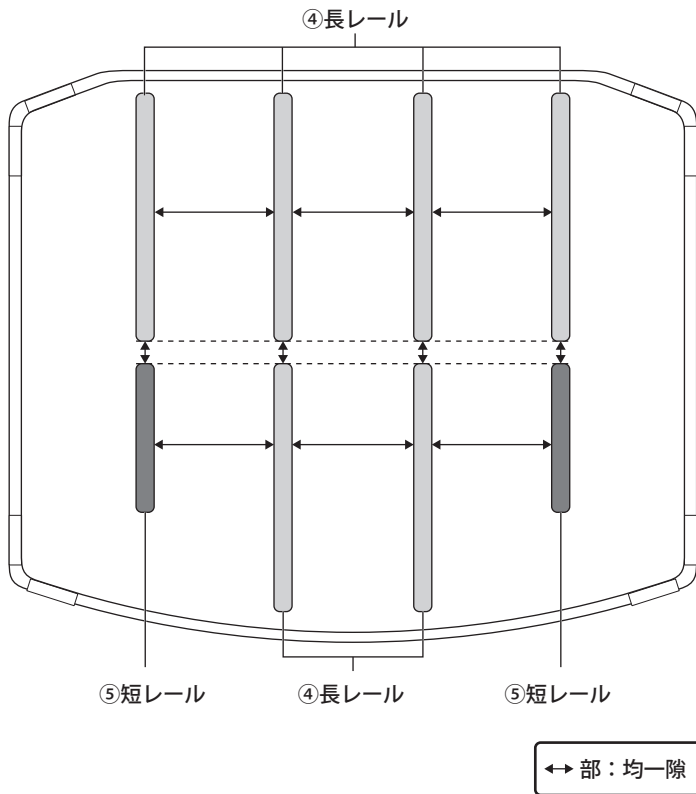


注意

⑦タッピングビスは強く締め付けすぎないでください。各部品が破損するおそれがあります。



[純正デッキボード 表面]



17. 純正デッキボードを表面に返し、レールを固定していたマスキングテープを全てはがす。このとき、レールにズレがある場合は、⑦タッピングビスを少し緩めて調整し、再度締めなおしてしっかりと固定する。

18. 純正デッキボード表面四隅の取り付け位置マーキング（マスキングテープ）を全てはがし、ボードの取り付けがしっかりと行われているか確認してボードの両面テープ貼付け部を再圧着する。
19. 完成したラゲージウッドデッキの汚れ、埃を除去し、車両に戻す。